

平成 29 年 5 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 4 月 17 日

上場会社名 株式会社新東京グループ 上場取引所 東  
 コード番号 6066 URL <http://www.mr-shintokyo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 勝秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小野澤 歩 (TEL) 047(383)7001  
 四半期報告書提出予定日 ー 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績 (平成28年6月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	2,917	5.8	256	330.7	171	663.6	130	ー
28年5月期第3四半期	2,756	ー	59	ー	22	ー	△85	ー

(注) 1. 包括利益 29年5月期第3四半期 130百万円 (ー%) 28年5月期第3四半期 △84百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	26.37	ー
28年5月期第3四半期	△17.19	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年5月期第3四半期	3,749	850	22.7
28年5月期	3,413	719	21.1

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 850百万円 28年5月期 719百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
29年5月期	ー	0.00	ー	ー	ー
29年5月期(予想)	ー	ー	ー	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年5月期の連結業績予想 (平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	1.3	350	128.2	300	187.9	220	ー	44.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年5月期3Q	4,960,000株	28年5月期	4,960,000株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	一株	28年5月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年5月期3Q	4,960,000株	28年5月期3Q	4,960,000株

※ 四半期報告書提出予定日について

当社は有価証券報告書の提出義務がないため、四半期報告書につきましても提出する予定はございません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化により上記数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料 2 ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年6月1日～平成29年2月28日）における世界経済は、中国を始めとする新興国経済の減速の影響や、英国のEU離脱決定に伴う金融資本市場の影響に加え、米国の保護主義的な諸政策への憶測など、不透明要因が残る状況で推移いたしました。

一方、国内については、政府による経済政策や金融緩和政策の継続によって、企業収益や設備投資に改善が見られており、ドル円為替相場が期初水準に戻るなど好転しつつあります。

このような経済状況の中、当社グループの主要顧客となる建設業界においては、東京オリンピック・パラリンピックの開催を睨んだ各種事業は、需要増加の明るさが見られるものの、受発注者双方の労務需給の逼迫等の懸念があり、経営環境は不透明さを残した状況が継続しております。

以上のような背景のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,917,461千円（前年同期比5.8%増）、営業利益は256,717千円（前年同期比330.7%増）、経常利益は171,735千円（前年同期比663.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は130,785千円（前年同期は85,248千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ①環境プロデュース事業

環境プロデュース事業につきましては、売上高は1,531,710千円（前年同期比21.2%増）となり、セグメント利益は264,748千円（前年同期比62.3%増）となりました。

#### ②メタルマテリアル事業

メタルマテリアル事業につきましては、売上高は733,117千円（前年同期比37.8%減）となり、セグメント利益は23,433千円（前年同期比19.2%減）となりました。

#### ④ 建設解体工事事業

建設解体工事事業につきましては、売上高は494,048千円（前年同期比59.0%増）となり、セグメント利益は97,810千円（前年同期は2,572千円の営業利益）となりました。

#### ⑤ 新エネルギー事業

新エネルギー事業につきましては、売上高は66,914千円（前年同期比280.4%増）、セグメント損失は1,821千円（前年同期は4,453千円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、2,338,382千円となりました。主な内訳は、現金及び預金763,547千円、受取手形及び売掛金581,626千円、前渡金580,410千円であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、1,411,341千円となりました。主な内訳は、建物及び構築物（純額）530,649千円、土地498,787千円であります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、1,458,121千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金290,060千円、短期借入金400,000千円、1年内返済予定の長期借入金120,000千円、前受金241,324千円であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、1,440,759千円となりました。主な内訳は、長期借入金1,030,000千円、社債210,000千円であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、850,842千円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)  
を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	385,878	763,547
受取手形及び売掛金	706,151	581,626
仕掛品	47,434	162,300
前渡金	634,410	580,410
未収入金	216,503	210,449
繰延税金資産	11,412	13,262
その他	39,604	43,713
貸倒引当金	△21,280	△16,927
流動資産合計	2,020,114	2,338,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	891,400	898,170
減価償却累計額	△344,672	△367,521
建物及び構築物（純額）	546,728	530,649
機械装置及び運搬具	130,012	176,729
減価償却累計額	△116,920	△121,094
機械装置及び運搬具（純額）	13,092	55,634
土地	498,787	498,787
リース資産	177,739	187,760
減価償却累計額	△51,003	△72,540
リース資産（純額）	126,735	115,220
その他	26,985	27,604
減価償却累計額	△26,239	△26,372
その他（純額）	746	1,231
有形固定資産合計	1,186,090	1,201,524
無形固定資産		
のれん	16,842	9,952
その他	1,317	1,130
無形固定資産計	18,160	11,082
投資その他の資産		
投資有価証券	10,908	11,510
差入保証金	74,158	82,010
投資不動産	70,000	70,000
繰延税金資産	7,690	7,681
その他	35,161	61,412
貸倒引当金	△9,267	△33,881
投資その他の資産合計	188,652	198,734
固定資産合計	1,392,902	1,411,341
資産合計	3,413,016	3,749,723

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	253,472	290,060
短期借入金	608,551	400,000
1年内返済予定の長期借入金	274,320	120,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	78,335	76,953
未払法人税等	39,031	32,151
未払金	49,040	53,434
前受金	21,337	241,324
災害損失引当金	118,351	118,351
その他	39,992	65,845
流動負債合計	1,542,433	1,458,121
固定負債		
社債	250,000	210,000
長期借入金	688,820	1,030,000
リース債務	181,300	134,117
その他	30,513	66,641
固定負債合計	1,150,633	1,440,759
負債合計	2,693,067	2,898,881
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	86,600	86,600
資本剰余金	75,600	75,600
利益剰余金	554,055	684,841
株主資本合計	716,255	847,041
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,693	3,801
その他の包括利益累計額合計	3,693	3,801
純資産合計	719,949	850,842
負債純資産合計	3,413,016	3,749,723

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

① 四半期連結損益計算書

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成27年6月1日 至平成28年2月29日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成28年6月1日 至平成29年2月28日）
売上高	2,756,870	2,917,461
売上原価	2,461,089	2,344,083
売上総利益	295,781	573,377
販売費及び一般管理費	236,178	316,659
営業利益	59,602	256,717
営業外収益		
受取利息	97	1,421
受取配当金	213	264
その他	1,878	2,699
営業外収益合計	2,190	4,384
営業外費用		
支払利息	34,347	29,702
社債利息	2,172	2,976
支払手数料	2,456	53,583
その他	326	3,104
営業外費用合計	39,303	89,367
経常利益	22,489	171,735
特別利益		
固定資産売却益	185	46
特別利益合計	185	46
特別損失		
固定資産売却損	320	—
火災損失	83,763	—
特別損失合計	84,083	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△61,409	171,781
法人税、住民税及び事業税	30,242	42,844
法人税等調整額	△6,403	△1,849
法人税等合計	23,839	40,995
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△85,248	130,785
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△85,248	130,785



② 四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益又は純損失(△)	△85,248	130,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	814	107
その他の包括利益合計	814	107
四半期包括利益	△84,433	130,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84,433	130,893
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第 3 四半期連結累計期間（自 平成 27 年 6 月 1 日 至 平成 28 年 2 月 29 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	環境プロデュース事業	メタルマテリアル事業	建設解体工事業	新エネルギー事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,264,296	1,179,011	310,710	17,592	2,771,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,264,296	1,179,011	310,710	17,592	2,771,611
セグメント利益又は損失(△)	163,106	29,014	2,572	△4,453	190,240

	その他	調整額	合計
売上高			
外部顧客への売上高	△14,740	—	2,756,870
セグメント間の内部売上高又は振替高	120,480	△120,480	—
計	105,739	△120,480	2,756,870
セグメント利益又は損失(△)	△11,280	△119,356	59,602

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、戦略投資事業、不動産賃貸業及び子会社の経営指導業務を含んでおります。

2. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第 3 四半期連結会計期間から、従来「戦略投資事業」として記載していた報告セグメントにつきまして、量的な重要性が乏しくなったため「その他」の区分に含めて記載する方法に変更しております。

当第 3 四半期連結累計期間（自 平成 28 年 6 月 1 日 至 平成 29 年 2 月 28 日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	環境プロデュース事業	メタルマテリアル事業	建設解体工事業	新エネルギー事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	1,531,710	733,117	494,048	66,914	2,825,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,531,710	733,117	494,048	66,914	2,825,791
セグメント利益又は損失(△)	264,748	23,433	97,810	△1,821	384,171

	その他	調整額	合計
売上高			
外部顧客への売上高	91,670	—	2,917,461
セグメント間の内部売上高又は振替高	128,880	△128,880	—
計	220,550	△128,880	2,917,461
セグメント利益又は損失(△)	1,426	△128,880	256,717

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び子会社の経営指導業務を含んでおります。
2. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。